



会場では雪だるまを作って楽しむ子どもたちも!



クレープやカレー、ピザなどのキッチンカーがずらり



つがるちゃんも登場!  
一緒に写真を撮る子どもたち



# つがる地球村で冬を楽しむ!

穏やかな晴れ間が広がった1月28日、つがる地球村で「2024つがる市雪(スノー)フェスタ in 地球村」が開催されました。会場には、長さ20mの氷の滑り台が2基設置され、子どもたちはそりに乗って滑り降り、歓声を上げてスリルを楽しんでいました。また、馬そり体験や棒パンづくり、振る舞い鍋など多彩な催しのほか、キッチンカーや出店も軒を連ね、多くの家族連れでにぎわいを見せていました。



①会場周辺 300 ㍓ほどのコースを周回するポニーの馬そり体験。そりを軽々と引くポニーの「花子」に子どもたちは興味津々 ②りんご娘の妹ユニット「アルプスおとめ」のメンバーから振る舞い鍋を受け取る来場者。約 700 人分用意された特製の振る舞い鍋は、にんにく塩こうじが味の決め手。白菜やゴボウ、ダイコン、シメジ、とり肉などの具材がたっぷり ③特製の振る舞い鍋に舌鼓を打つ家族。熱々の鍋で体もポカポカ ④棒にパンの生地を巻きつけ、炭火の上で、自分で棒をくるくる回しながら焼きあげる棒パン作り。マシュマロ焼きも用意され、あぶると表面は香ばしく、中はトロリとした食感に。





## バスクラリネットで全国大会に出場し特別賞受賞



顧問の三上朋也教諭(中左)、一戸心乃さん(中央)、  
伴奏を担当する中島谷瑞穂教諭(中右)

10月29日に開催された「中学生・高校生のための第20回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト」(東邦音楽大学主催)青森県予選に、木管楽器の部・バスクラリネット出場した森田中学校3年生一戸心乃さんが、4段階で最高評価を獲得し、本選(全国大会)への切符を手に入れました。

この日、倉光市長を表敬訪問した一戸さんは、予選で選曲した自由曲を披露し、「本選まで残り1カ月間、コツコツと練習を重ねて頑張っていきたい。基礎練習を大事にして金賞を取りたい」と意気込みを語りました。

倉光市長は「のびのびと演奏して、頑張ってきてほしい」と激励しました。

12月26日、東邦音楽大学(埼玉県川越市)で本選が行われ、一戸さんは金賞と、特に優秀であると認められた奏者に贈られる特別賞にも輝きました。

## 農業士会が設立40周年記念を兼ねたフォーラム開催

つがる市農業士会(七戸真吾会長)が、設立40周年記念事業を兼ねた「つがる農業活性化フォーラム」を開催しました。

1983年に設立した同会は、先進的な農業技術や農業経営等を学び、各自の経営に生かすため、毎年フォーラムを開催。この日は、農業関係者約60人が参加し、記念式典で七戸会長は「フォーラムを通して親睦を深め、他の農業者のアイデアや考え方から刺激を受けることができ、これまでさまざまな課題に取り組んできた。今後は担い手育成・確保やスマート農業の技術導入を課題として取り組んでいく」とあいさつを述べました。

「外から見た青森県の魅力～d-iZeのジモトーク～」と題した記念講演では、県内を中心にタレント活動を行うd-iZe(ダイズ)さんが「県外の方にアピールするときは、年代や人数などを明確に定めてから行い、こちらから呼び掛けるよりも、どうすれば県外の方に来てもらえるかを考えることが大切」と話しました。



記念講演するd-iZeさん

## (株)角弘が創業140周年を記念し市に50万円を寄付



倉光市長に目録を手渡す船越秀彦社長

株式会社角弘(船越秀彦代表取締役社長)が、小中学生のスポーツ振興などに役立ててほしいと市に50万円を寄付しました。

この日、船越社長から目録が手渡され、倉光市長は「多額のご厚意をいただき、必ずやこれが成果につながるよう精一杯頑張りますので、温かく見守っていただければ」と感謝の気持ちを述べました。

船越社長は「創業140周年記念事業の一環としての寄付。スポーツ振興をはじめとする地域活性化のために使用していただきたい」と話しました。

同社は、本市のほか県と20市町村にも寄付しました。

## 車力分屯基地で餅つき地域住民と交流を深める

航空自衛隊車力分屯基地で餅つき行事が行われ、車力基地協力会や近隣町内会、米陸軍の関係者、年男・年女を迎える自衛隊員など約60人が参加。明るい新年を願い、末広がりの「八」にかけて8回ずつ、威勢よくきねを振っていました。

コロナ禍を経て4年ぶりに開催された食事会では、つきたての餅をあんこやきな粉などで振る舞われ、参加者たちは楽しい時間を共有し交流を深めました。

車力分屯基地の八島康喜司令は「餅つきは一人ではできないため、皆で行うことで連帯感を高め、喜びを分かち合えるといわれています。新年を迎える喜びを皆さまと分かち合えれば」とあいさつしました。

餅つきを終え、車力基地協力会の成田悦雄会長は「臼ときねを使った餅つきをあまり見かけなくなったが、貴重な交流行事をこれからも続けてほしい」と話しました。



よいしょの掛け声に合わせて餅をつく参加者たち

12/19  
市役所

## 市と第一生命が包括連携協定を締結



協定書を手にする倉光市長と野田淳青森支社長

市と第一生命保険株式会社は、健康増進、ワーク・ライフ・バランスの推進、子育て支援、高齢者支援、スポーツ振興、産業振興・中小企業支援、環境保全、市政情報の発信などの分野において包括連携協定を締結しました。

今後は相互に連携し、健康セミナーの実施、女性が働きやすい環境づくりの支援、地域の高齢者や子どもたちの見守り活動などに取り組み、地域社会の発展と市民サービスのさらなる向上を推進します。

この日、協定書を取り交わした倉光市長は「協力いただけることを非常に心強く思います。さまざまな場面で、第一生命の皆さんと地域課題の解決に向けて取り組んでいきたい」と、同社の野田淳青森支社長は「本日をスタートに、共同で取り組める項目を年々増やしていきたい」とそれぞれあいさつを述べました。

## 瓜田英司さんフォトコンテストで快挙

瓜田英司さん(木造)が「第71回ニッコールフォトコンテスト」で、最高賞の「長岡賞」を受賞しました。

同コンテストは、1953年に始まり国内でも有数の規模と歴史を誇り、プロフェッショナルとアマチュアの枠を超え、誰でも参加できる写真コンテストとして注目度が高く、毎回多くの優れた作品が発表されています。瓜田さんの作品「アタカの冬」(組み写真)は、厳しい冬に耐える寒立馬を題材にし、応募総数2万2,974点の頂点に輝きました。

この日、倉光市長に受賞の喜びを報告した瓜田さんは、今後の展望について「海外の写真コンテストにも出したい。それと、もう一度ニッコールフォトコンテストにチャレンジして、よい賞をとりたい」と話しました。

倉光市長は「受賞おめでとうございます。地元での個展開催も期待しています」とたたえました。



賞状と盾を手にする瓜田英司さんと受賞した組み写真の1つを手にする倉光市長

12/21  
市役所



12/26  
旧制木造中学校  
講堂

## 市教育委員会と弘前大学教育学部が連携協定を締結



協定書を手にする山谷教育長と福島裕敏教育学部長

市教育委員会と国立大学法人弘前大学教育学部は、地域の教育課題に適切に対応し、調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成に役立てるため、教育、人材育成、学術研究の分野において連携協定を締結しました。

同学は、県内10市の中で最も人口減少が著しい本市において、学校現場や小中学校の統廃合がもたらす長期的な影響等を調査し、地域の教育の課題解決に役立つ教育プログラムの開発・普及などを進めます。

この日、締結式が行われ、同学の福島裕敏教育学部長は「今後、地域における子ども・教師のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態）をしっかりと考えていきたい」と、山谷教育長は「本市が人口減少地域の自立した地域づくりのモデルとなることに期待します」とそれぞれあいさつを述べました。

## 「下剋上球児」に出演の生田俊平さんが表敬訪問

俳優生田俊平さん（柏出身、ミシェルエンターテインメント所属）が倉光市長を表敬訪問しました。

昨年10月から12月にかけて放送されたTBSテレビ日曜劇場「下剋上球児」に、楡伸次郎役で出演した生田さん。反響が大きく、市民からたくさんの応援メッセージをもらったことから、市民を代表する倉光市長に感謝の気持ちを伝えました。

生田さんは、「撮影中は難しいシーンもあったが、楽しかった」と振り返り、「青森を盛り上げるためにもこの仕事をしている部分があるので、今後は野球以外の作品にも挑戦して頑張っていきたい」と意気込みました。

倉光市長は「今後も次から次へと仕事が舞い込むと思いますが、一生懸命頑張ってもらいたい。応援しています」と激励しました。



ドラマで着用したユニホーム姿で市役所を訪れた生田俊平さん

## 1月10日は「110番の日」警察署が啓発活動を実施



警察官の帽子と制服を試着する子どもたち

1/8  
イオンモール  
つがる柏

つがる警察署（坂下浩章署長）が、「110番の日フェア」を開催し、事件・事故の際の110番通報の利用を呼び掛けました。

会場では、警察官が正しい110番通報の掛け方を寸劇を交えて解説したほか、酔っ払い体験ゴーグル、反射速度を測定できるクイックアーム、子ども用の警察官の制服なども用意され、立ち寄った買い物客たちは、正しい110番の利用法や飲酒運転の根絶に理解を深めていました。

坂下署長は「事件や事故など、警察官の助けが必要な緊急の場合は、ためらわずに110番してほしい」と話しました。

訪れた北澤瑛伸君は「制服を着れてうれしかった。大きくなったら警察官になりたい」と目を輝かせました。